

数学特別講義A

幾何学特論D(修)

幾何学特殊講義HIII(博)

植田 一石 講師

(東京大学 准教授)

談話会

4月18日(月) 16:00~17:00

「代数幾何学におけるループ空間」

ループ空間やループ群は幾何学や表現論、数理物理などの様々な分野で重要な役割を果たして来た。

本講演では、代数幾何学におけるループ空間の類似物として、準写像のモジュライ空間や導来代数幾何学におけるループ空間について、ミラー対称性との関わりを中心に紹介したい。

講義
期間
・
題目
・
内容

4月19日(火) 15:00~18:00

20日(水) 15:00~18:00

21日(木) 13:30~16:30

★時間が異なります

22日(金) 15:00~18:00

ミラー対称性

ミラー対称性は超弦理論に由来する数学的な現象で、ある空間のシンプレクティック幾何と、そのミラーと呼ばれる別の空間の複素幾何の間に不思議な関係があることを指す。この授業の目的は、位相的捻りを加えた2次元の超対称ゲージ理論の数学的な定義の候補である準写像空間上の交叉理論や、同変コホモロジーの局所化定理を用いた計算、Gromov-Witten理論や超幾何級数、完全可積分系などのミラー対称性に関わる様々な話題とそれらの間の関係について、なるべく予備知識を仮定せずに紹介することである。

備考

・談話会・集中講義ともに、全面オンラインで実施します。連絡事項・資料掲載は Google Classroom を用います。

【クラスコード】 ■(学部)数学特別講義A：p76hrdm

■(修士)幾何学特論D：or4nzol ■(博士)幾何学特殊講義HIII：olbh3w5

(クラスコードを使用しての参加だけでは、履修登録にはなりません。必ず履修登録期間中に学務情報システムからの履修登録を行ってください。)